

会社概要

安全の大使

安全オートメーションのトータルソリューション

Pilz GmbH & Co. KG
Felix-Wankel-Straße 2
73760 Ostfildern,
Germany
Deutschland/Germany
www.pilz.com

2023年5月
1/6ページ

より速く、より柔軟に、より安全に -

これらの目標を実現するため、あらゆる業界で設備や機械のオートメーションが推し進められています。それに伴い、生産システムには新たな要求が課されています。安全オートメーションのトータルサプライヤであるピルツは、「人、機械、環境の安全」で知られる世界的な企業であり、あらゆる業界に向けてオートメーションソリューションを提供しています。

設立当初から、技術革新こそが成功の鍵でした。ピルツは、1948年、エスリンゲンで、医療技術向け機器を製作するガラス吹き事業者として発足しました。1960年代には、電子制御装置・電子監視装置やプログラマブルロジック制御システムのサプライヤへと進化を遂げます。その後も、伝統ある家族経営の形態を保ちながら、安全オートメーションの分野で新たな基準を打ち立てていきます。1968年には両手操作制御リレー、1987年には非常停止リレーPNOZ（Pilz-NOT-AUS-

Zwangsgeführt）を他社に先駆けて発表しました。なお、PNOZは英語で "Pilz E-Stop positive-guided"

を意味し、製品も非凡ながら、製品名もユニークなものとなっています。PNOZは急速に普及し、**世界で最も広く使用される安全リレー**となりました。1997年には、設備や機械の分散型ネットワークに対応する安全オープンバスシステムSafetyBUS

pを発表しました。2002年には、小型安全コントローラPNOZmultiを市場に投入しました。この製品が登場したことで、従来の配線作業

に代わり、PC上で必要に応じて安全機能を設定できるようになりました。また、さらなる技術革新の成果として、世界初の3次元ゾーン監視用安全カメラシステムSafetyEYEも市場に投入しています。

安全オートメーションのトータルサプライヤ

ピルツは、**安全という中核技術**を基盤として、安全とオートメーションをインテリジェントに融合することで、オートメーションソリューションのトータルサプライヤへと成長しました。安全技術の分野で培った長年の経験と幅広い知識が、設備や機械の一般制御のための要件に活かされています。お客様のメリット：ワンストップのカスタム・オートメーションソリューション。

2009年発売の、あらゆるオートメーションタスクに対応するオートメーションシステムPSS

4000は、まさしくこの方向性に沿った製品です。Industrie

4.0対応のオートメーションシステムが、

エンジニアリングプロセスの全段階でユーザーをサポートします。

ピルツの**取扱製品**には、センサ技術、電子監視リレー、安全リレー、小型安全コントローラ、産業用通信システム、モーションコントロール対応のオートメーションソリューションに加え、視覚化ソリューション、オペレータターミナルなどもあります。

デジタル化とネットワーク化が進むにつれ、オートメーションにおけるセキュリティの重要度が増しています。ピルツは、**機械の産業サイバーセキュリティ**を構築することで、人や環境を保護するだけでなく、装置、設備、機械の不正アクセスや不正操作に対する安全性も確保します。

ピルツのシステムソリューションは、機械エンジニアリングのあらゆる分野に加え、自動車、食品、木工業、社内物流、鉄道技術、ロボティクスの分野でも利用されています。空港での手荷物処理システムの安全な運用、劇場の舞台機構のスムーズな動作、ケーブルカーやジェットコースターの安全な走行を支えているのも、テクノロジーリーダー企業であるピルツの製品です。ピルツのシステムソリューションを導入するメリットは、人と機械の安全性が確実に向上することだけではありません。生産サイクルをより効率的に設計できるようになり、ダウンタイムが回避されるため、高い費用対効果が得られます。

ピルツの考える「安全」は、製品の枠を超えたものです。そのためピルツは、長年培ってきた専門的な技術・知識を、**包括的サービスパッケージ**の形態で提供しています。このパッケージでは、安全コンサルティングとエンジニアリングをベースに、設備安全アセスメントから、リスク分析、現場でのシステム実装・検証に至るまで、高度で包括的なサービスが提供されます。また、このパッケージには、製品トレーニングコースや機械安全セミナーも含まれています。2013年、ピルツはTÜV NORDと協力して国際的なトレーニングプログラムCMSE®（Certified Machinery Safety Expert）を開発しました。これにより、機械安全分野における国際的な認定トレーニングの標準をいち早く設定しました。

家族経営 – 世界に認められたブランド

ピルツの前取締役会長であるレナーテ・ピルツは、夫の死後、1975年に入社しました。彼女は次のように述べています。「私は、国際的な企業を作るという夫のビジョンを引き継ぎ、従業員とお客様のために尽力して、いつの日かこの国際企業を子どもたちに譲り、家族のライフワークとしたいと考えていました。」**2017年末**、レナーテ・ピルツは、経営パートナーである娘のスザンネ・クンスチャートと息子のトーマス・ピルツに会社の経営を引き継ぎました。ピル

ツブランドは、今や世界を牽引する産業ブランドの1つとなっています。

専門的な知識・技術と、技術革新の精神

ピルツでは多くの場合に、お客様と共同で、またはお客様との契約に基づいて製品を開発しています。トーマス・ピルツは次のように述べています。「研究開発部門の最も重要な課題は、お客様と市場の要件を満たす製品を開発することです。お客様との密接な連携と技術革新は切り離すことのできないもので、どちらか一方が欠けてもなりません。ピルツがお客様だけではなく、大学、認証機関とも密接に連携するのはそのためです。この連携があるからこそ、私たちは絶えず革新をもたらし、新たな標準を打ち立てることができるのです。」

ピルツは、ドイツ政府の革新政策諮問機関である**Research**

Allianceのメンバーとして、**Industrie**

4.0の構想段階で重要な役割を果たしました。そして現在も、バーデンビュルテンベルク州のIndustrie 4.0

Alliance、研究プラットフォームSmartFactory

KL、産業コンソーシアムOPC Foundation、研究キャンパスArena

2036などの委員会に参加しており、未来の産業を見据えて、常に安全とセキュリティの観点から、実用的な共通規格の策定に取り組んでいます。

環境にも配慮した安全

人、機械、環境の安全性 –

これこそが、安全オートメーションのトータルサプライヤーであるピルツが掲げるモットーです。ピルツは、このモットーを製品やソリ

ューションに反映させるだけでなく、自らも行動を起こしています。環境保護の姿勢はグループとしての目標にも浸透しており、省エネ製品の開発、社屋の環境保護設計、環境に配慮した業務慣行などにつながりました。スザンネ・クンスチャートは、ピルツの使命をこう言い表します。「私たちの目標は、安全の大使として、世界中で人と機械の安全性を向上させることです。そこには、私たちが生活し、働く環境も含まれています。」

ピルツは、オストフィルダンの本社と**42カ国の現地法人**を通じて販売サービスおよびエンジニアリングサービスを展開することで、世界各地のユーザーをサポートしています。安全なオートメーションの実現に向け、世界中で**2,500名を超える従業員**がその知識を駆使して活躍しており、新たな市場におけるピルツの地位を確かなものになっています。

報道関係者お問い合わせ先:

Martin Kurth

企業および技術プレス
電話 : +49 711 3409-158
m.kurth@pilz.de

Sabine Karrer

技術および企業プレス
電話 : +49 711 3409-7009
s.skaletz-karrer@pilz.de

**Hansjörg Sperling-
Wohlgemuth**

Conference and
Presentation
Management
電話 : +49 711 3409-239
h.sperling@pilz.de

Jenny Skarman

技術プレス
電話 : +49 711 3409-1067
j.skarman@pilz.de

Sabrina Schilling

技術プレス
電話 : +49 711 3409-7147
s.schilling@pilz.de

ピルツの概要

産業：オートメーション技術、
中核技術：安全オートメーション

設立年：1948年

経営者：

トーマス・ピルツ（経営パートナー）、
スザンネ・クンスチャート（経営パートナー）

従業員数：全世界で約2,500名

売上高（2022年）：4億330万ユーロ

現地法人および支社：世界に42拠点

品質規格：DIN EN ISO 9001:2000



製品/システム

- 小型安全コントローラ、プログラマブルコントローラ
- 安全リレー
- センサ技術（安全ボルト/スイッチ、ライトカーテン、安全扉、およびカメラシステム）
- モーションコントロール（コントロールシステム、サーボアンプ、モータ）
- 電子監視装置
- 産業用通信システム（安全バスおよびイーサネットシステム）
- 視覚化ソリューションおよびオペレータターミナル
- 制御機器および信号装置

サービス

- コンサルティング
- エンジニアリング
- トレーニング

6/6